



第42回福祉を考える集会

ひとりで悩んだっていいんだに
～ 私にできることを考えよう～

7.2.15(土)開催

意見シートのまとめ

※項目間でNoを統一してあります。
Noが同じ場合は、同じ方からのご意見です。

問1 居住地区 / 問2 性別

No	①上片桐	②上大島	③名子	④上新井	⑤古町	⑥福与	⑦部奈	⑧生東	⑨その他	未記入	備考
1				1							
2			1								
3	1										
4				1							
5									1		高森町
6								1			
7		1									
8			1								
9		1									
10				1							
11									1		飯田市
12			1								
13					1						
14	1										
15				1							
16									1		飯田市
17									1		飯田市
18	1										
19	1										
20										1	
21		1									
22		1									
23										1	町外
24	1										
25									1		
26			1								
27				1							
28		1									
29	1										
30		1									
31		1									
32			1								
33	1										
34	1										
35	1										
36		1									
37		1									
38			1								
39	1										
40								1			
41									1		
42		1									
43		1									
44		1									
45						1					
46	1										
47		1									
48			1								
49			1								
50	1										
51			1								
52			1								
53									1		
合計	12	13	10	5	1	1	0	2	7	2	

No	男	女	未記入
1		1	
2		1	
3		1	
4	1		
5		1	
6		1	
7	1		
8	1		
9		1	
10		1	
11	1		
12	1		
13	1		
14		1	
15	1		
16		1	
17		1	
18		1	
19		1	
20			1
21		1	
22		1	
23		1	
24		1	
25	1		
26	1		
27		1	
28		1	
29	1		
30		1	
31		1	
32		1	
33	1		
34		1	
35	1		
36		1	
37		1	
38	1		
39		1	
40			1
41	1		
42	1		
43	1		
44		1	
45		1	
46		1	
47		1	
48		1	
49		1	
50		1	
51		1	
52	1		
53		1	
合計	17	34	2

問3 年齢

問4 NPO法人Hug、ハナブサハウス松川を利用したことはありますか？

問3								
No	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未記入
1						1		
2							1	
3						1		
4						1		
5					1			
6						1		
7		1						
8							1	
9							1	
10							1	
11				1				
12						1		
13					1			
14						1		
15						1		
16				1				
17				1				
18						1		
19							1	
20					1			
21				1				
22							1	
23					1			
24						1		
25		1						
26						1		
27					1			
28				1				
29							1	
30							1	
31				1				
32			1					
33						1		
34						1		
35							1	
36							1	
37							1	
38						1		
39			1					
40							1	
41					1			
42					1			
43							1	
44							1	
45						1		
46						1		
47							1	
48							1	
49					1			
50					1			
51						1		
52						1		
53				1				
合計	0	2	2	7	9	17	16	0

問4				
No	①ある(NPO法人Hug)	②ある(ハナブサハウス松川)	③どちらもある	④ない
1	1			
2				1
3				1
4				1
5				1
6				1
7	1			
8				1
9	1			
10				1
11				1
12				1
13				1
14		1		
15				1
16	1			
17				1
18	1			
19				1
20				1
21				1
22				1
23				1
24	1			
25				1
26				1
27		1		
28			1	
29			1	
30				1
31	1			
32			1	
33				1
34			1	
35	1			
36				1
37				1
38				1
39				1
40				1
41	1			
42	1			
43				1
44				1
45				1
46			1	
47			1	
48			1	
49			1	
50				1
51	1			
52				1
53	1			
合計	12	2	8	31

問5 問4で「ある」と答えた方は、どのようなきっかけで利用されましたか？
また、どのような感想を持たれましたか？

No	問4で「ある」と答えた方は、どのようなきっかけで利用されましたか？ また、どのような感想を持たれましたか？
1 60代	<ul style="list-style-type: none"> •お弁当を注文した •食材を持って行った
7 20代	清掃員として
9 70代以上	孫がお世話になっています。 勉強をする気になって、素直になった気がします。
14 60代	町外の方より相談があり、その方と一緒に訪問し、悩みを聞いてもらいました。
18 60代	子ども食堂に孫と一緒に何回か利用させていただきました。 民生児童委員として施設訪問をさせていただき、説明も受けました。
24 60代	<ul style="list-style-type: none"> •説明を聞きに行った。 •お弁当など利用させてもらった。 •あったかいホーム的でまた行きたいと感じた。
27 50代	社協からの勧め。 とても居心地よく過ごせました。
29 70代以上	支援者として
31 40代	子どもカフェを毎週利用しています。 長男は毎日のように学校の帰りに寄っています。 とてもありがたいなと思っています。
32 30代	相談

**問5 問4で「ある」と答えた方は、どのようなきっかけで利用されましたか？
また、どのような感想を持たれましたか？**

No	問4で「ある」と答えた方は、どのようなきっかけで利用されましたか？ また、どのような感想を持たれましたか？
34 60代	<ul style="list-style-type: none"> ・食事 (Hug) ・見学 (ハナブサハウス松川)
35 70代 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・お昼を食べに行った。 ・Wi-Fiでの会合に利用させてもらった。
41 50代	いろいろな人たちが関わっていることを感じました。
46 60代	<ul style="list-style-type: none"> ・見学 (ハナブサハウス松川) ・お弁当を注文したり、食材提供 (Hug)
47 70代 以上	利用ではなく、ボランティア、見学などで。
48 70代 以上	Hugさんは、食堂を利用させていただきました。 ハナブサハウス松川さんは見学させていただきました。
49 50代	すばらしい事業だと思いました。
51 60代	団体の折詰を注文した。
53 40代	Hugさんのお弁当、栄養バランスが良くてとても美味しい。

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。①・②

No	①松川町の福祉に係る現状・課題等について 【発表者】松川町役場 保健福祉課 伊藤遼太氏・下澤尚子氏	②「つながる力」で、できること 【発表者】NPO法人Hug 理事長 篠田阿依氏
1 60代	・困っている個人への対応を続けられていることに感謝	楽しさ、広がりを感じられたのは、困っている子どもさん(全て)に何らかの手を差し伸べたいという愛からきていると感動した。丁寧な支援をされている。
2 70代以上		活動を応援しています。
3 60代	色々なケースがある中での活動となると、人力の必要性を感じますが、限られた人達だけでは無理な部分が多いのでは…。近隣を巻き込んでいく事も有りかと…。	幼児期に同意同調してもらった経験は、安全地帯として認識できると思うし、逃げ場・居場所として“ここがある”という意識につながると思う。なので、出産後の母親達がカフェで心のゆとりを持ち、我が子に接してあげられる事ができるのは、とても重要だと思います。
4 60代	資料A-26⇒A-27の説明が良く分からなかった。	活動がAさんの事例で良く分かりました。
5 50代	役場のお二人の”福祉”に特化した想いを感じることができた。	Hugの12月実績人数をみると、これほど多くの方が来訪することは定着したものになっていると感じた。
6 60代	いいお話をありがとうございました。いつもお元気で信頼のあるお二人なので、今後にも期待しております。	いつもふれあう機会があるたびに、前向きで素晴らしいお話を聞かせていただきます。Hugさんは松川町の誇りです。応援しています。
8 70代以上	『支援者であるまえに「ひと」として』は、とても大切なことだと思う。	いろいろな人とのつながる場をほしがっている人がいると思う。
11 40代	重層的支援という言葉は初めて聞きました。福祉に対する意識を強く感じました。	地域の人々の協力により成立している。SOSを出せる環境作りをしている。つながる事の大切さ。

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。①・②

No	①松川町の福祉に係る現状・課題等について 【発表者】松川町役場 保健福祉課 伊藤遼太氏・下澤尚子氏	②「つながる力」で、できること 【発表者】NPO法人Hug 理事長 篠田阿依氏
12 60代	「重層的支援」「地域共生社会」という単語は私達の身近な言葉があるといいなと思います。	
13 50代	分かりやすい内容であった。	分かりやすかった。
14 60代	早口で淡々と話され、よくわからずに終わってしまった。時間の関係があるかと思いますが…、本当に話を聞いてくれるのか？と思った。	第三の居場所、悩みを抱えた方、SOSを出せない事もあるかと思われる。よい場所だと思います。そこまで行く事ができる人は良いが、行くまでには難しい事もあるのかな、と思いました。よい場所であるので、ぜひ利用させるようにしたい。
15 60代		松川町にも「子ども食堂」がある事を知りました。
16 40代		とても分かりやすい内容で、共感する部分がたくさんありました。理念がしっかりあって、その理念を貫いているところが素晴らしいと思いました。そんなところが町にあるって羨ましいです。
17 40代		産後の孤立など、誰にでも起こりうることへの支援の視点。 Aさんが最初にHugを利用するようになったきっかけは悩みを話さないと誰にも気づいてもらえない→わかっていてもできない。つながることは大切で難しい。
18 60代	役割が多すぎて内容(仕事・支援)の理解も難しい。どこへ相談をしたら良いのか分かりにくい。色々なケースがある中、それぞれに適したサポートが行われていてありがたいです。	年齢、ケースを問わずに関わり、縦のつながり、横のつながりを大切に進んで活動していて素晴らしいと思います。

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。①・②

No	①松川町の福祉に係る現状・課題等について 【発表者】松川町役場 保健福祉課 伊藤遼太氏・下澤尚子氏	②「つながる力」で、できること 【発表者】NPO法人Hug 理事長 篠田阿依氏
21 40代	<ul style="list-style-type: none"> ・色々問題が重なり、支援が大変なケースがある。 ・支援者であるまえに「ひと」として、頼ってもらえるような関係を大切にしているといった言葉が、すごくいいと思いました。 	Hugさんの活動は、なんとなく理解していたけれど、事例など含めて、わかりやすく説明してもらいよかったです。これからもずっと続いてほしい。
22 70代以上	松川町にも大変なケースが多々あることをあらためて思い知りました。少しでも皆が安心して楽しく生活できるといいなあー。	
23 50代	イメージ図が分かりやすく、課題がよく分かりました。	Hugさん、ハナブサハウスさん、お名前だけは知っていたけれど、どんなことをされているのか、知りませんでした。お話を伺い、内容もでしたが理事長さん、職員の方の想いや活動のポリシーをお聞きできたのも良かったです。
24 60代	問題点や役場の支援の様子が分かり、地域住民として取り組んでいかなくてはいけないと感じた。	Hugさんは子ども、ハナブサハウスさんは全年齢。松川町にはこのような施設があり、幸せと感じた。
25 20代	わかりやすかった。	いつも部員がお世話になっており、感謝している。
27 50代	時間が限られている中でのお話でしたが、だいたい分かりました。	具体例、わかりやすく気持ちが伝わってきた。とても聞きやすかったです。
28 40代		柔軟に対応してくれるため、ありがとうございます。
30 70代以上	福祉の現状課題、組織体制、現状の詳細などよく理解できました。	子ども、保護者の方の心の支え(気持ちを話せる、生活困窮者の方々など)となる大きな場所と理解できました。自分にできることは…と考えています。

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。①・②

No	①松川町の福祉に係る現状・課題等について 【発表者】松川町役場 保健福祉課 伊藤遼太氏・下澤尚子氏	②「つながる力」で、できること 【発表者】NPO法人Hug 理事長 篠田阿依氏
32 30 代	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生コーディネーター、重層支援コーディネーターなど、今まであまり分からなかったことが聞けてよかった。 ・役場の方も思いをもって業務をしてくださっていることが伝わった。 	
34 60 代		<p>居場所を作っていただき、ありがとうございます。阿依さんの人間性が人を安心できる場所にいると思います。今後もよろしくお願い致します。</p> <p>近いところなら行ける！と言う人も多いのでは？このような場所ができれば、もっとできるといいなーと思います。</p>
35 70代 以上	<p>本当に困っている人に温かく接する行政や福祉の職員さんの存在は本当にありがたいと再認識しました。</p>	<p>通信制高校に関わられて、子どもたちの育ちの中での様々な困難をともに乗り越えていく場としての様々なつながりをいかして、Hugの形にしてきたこと、素晴らしいですね。</p>
36 70代 以上	<p>常に聞けない話でよかった。</p>	<p>Hugのしている事がわかりませんでした。説明を聞いてよくわかりました。</p>
37 70代 以上	<p>資料があるから仕方がないが、早口で理解しにくい発表。</p>	<p>居場所作りを継続されてきた力は説得力がある。折詰を利用したが、手作りでおいしい。しかも安い。具体的な活動では、多くの人とのつながりがあって、篠田さんのパワーと温かさを感じる。</p>
38 60 代	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度福祉に関わった人であれば理解できると思いますが、各機関の係りを具体的な事例をあげて説明できるとより分かりやすくなると思いました。 ・具体的な流れ(フローチャート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きな取り組みに感謝です。 ・継続できるための具体的な課題が分かればなお良いと思いました。

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。①・②

No	①松川町の福祉に係る現状・課題等について 【発表者】松川町役場 保健福祉課 伊藤遼太氏・下澤尚子氏	②「つながる力」で、できること 【発表者】NPO法人Hug 理事長 篠田阿依氏
39 30代	<ul style="list-style-type: none"> •つながりのなかった人々に、重層支援コーディネーターを入れることでつながりをもたせる。 •家族関係の希薄←家族でも関わりたくない人もいる。関係修復は難しい。 •認知症の方の免許問題←運転できると思っ 	<ul style="list-style-type: none"> •家や学校以外の居場所になる、安心してSOSを出せる場所や人は大切。 •色々な人との関わりで知らないことを知ることができた(子育ての大変さ、命の重さ、責任の重さなど)
40 70代以上		Hug、とてもわかりやすい理念に共感します。
41 50代	課題が複雑化しているが、そのことにしっかり対応する取り組みが素晴らしい。	いつもお世話になっています。応援しています。
45 60代	<ul style="list-style-type: none"> •制度、説明はコンパクトに。 •事例発表は、心のこもった伝え方で感銘を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> •子育て世代が社会と分断されているとのこと、ショックでした。 •第三の居場所の大切さを感じました。 •周りの人にSOSを出せて良かったの声。
46 60代	自分の知らないところで、いろんな問題が起きているんだと思った。	早い時期から問題意識をもって取り組んでいてくれた事がよくわかった。それによって助けられた人も大勢いたんだと思う。
47 70代以上	下澤さんの発表を聞いた(受付をされていて遅くなったため)。声がかんもってわかりにくく、内容がわかりにくかった。	子どもの問題解決の場になっていることで将来が明るくなる。
48 70代以上		私も子どもが高校生の時、登校拒否で随分悩んだ時期がありました。フリースクールがあれば子どもも親も随分精神的支えになると思います。篠田さんのような若い方が頑張ってください。本当に素晴らしいと思います。

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。①・②

No	①松川町の福祉に係る現状・課題等について 【発表者】松川町役場 保健福祉課 伊藤遼太氏・下澤尚子氏	②「つながる力」で、できること 【発表者】NPO法人Hug 理事長 篠田阿依氏
50 50 代		見学してみたいです。
51 60 代	重層的支援体制とは複合的な困り事を抱えている人にあらゆる機関が関わって解決に向けて支援する。	第三の居場所→地域からの協力(食材) 篠田さんの行動力に感服。あそこまでするのにどれ程の熱意が必要だったことが。
52 60 代	プロジェクターで写していたが、明るすぎて字が分かりづらかった。資料があったので、そのページを言いながら説明してもらえるとよかった。前半の説明はとても分かりづらかった。もっと簡素な説明の方がよいのでは。重層…いったい何なの？そこから説明がほしい。	Hugの存在は知っていたが、具体的にどんな活動をしているかは知らなかったのでこの機会に知ることができてよかった。何かできる(力になる)ことはないか考えていきたい。
53 40 代	生活、暮らし方、複雑化・多様化している中、一人一人抱えている問題が異なる。制度ありきではないという事に感銘を受けました。	つながる所がない現状がある事や、社会とのつながりが感じられる場所の必要性を学び、悩んだ時に安心して伝えられる場所・人が大切と知る事ができました。

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。③・④

No	③誰かと繋がる楽しい居場所 ハナブサハウス松川 【発表者】NPO法人はなぶさ学園 ハナブサハウス松川 代表 下澤綾子 氏・福祉を考える会運営委員 蒲澄子 氏	④地域共生コーディネーターの取り組みと地域共生社会 【発表者】松川町役場 保健福祉課 地域共生コーディネーター 関秀之 氏
1 60代	何か手伝いをさせてもらいたい気持ち。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい活動が人を集めているんだなあ。関さんの人柄がぴったりです。 ・活動をいつ、どこでやるのか、知らせる方法をもっと考えてほしい。
3 60代	存在を初めて知りました。ALL南信州である事、学校が出席扱いになる事、これらは本人・家族の心のケアにもつながると思います。この活動を続けるのも大変だと思います。もっと皆さんが知ったら手を貸す方は広がるのでは…と思うのですが。	この活動も知りませんでした。自治会内でも季節行事等の話題を聞いた事がなく、関心のある人々、無い人々の差を感じました。自身も地域というものの意識の低さを認識しました。
4 60代	元気をもらえました。	公民館活動と連携をしていくとより広がっていくと思います。
5 50代	私もどんな場所か、子どもさんのみしか行けない場所かと思っていたが、本日の話をお聞きして訪れてみたいと感じた。また、自分の住む高森町にもほしいと思った。	人柄が伝わり、分かりやすい説明だった。高森町にはないこの地域共生コーディネーター、どこの自治体にも必要とされる役割だと思った。
6 60代	行ってみたい…と思いつつ勇気がなく、ドキドキしています。蒲さんのお話の中の「入口の玄関に大きな目立つ看板が欲しい」に大賛成です。それがあって、入りやすい…と思う私です。	陸上の「関さん」には、子どもが大変お世話様になりました。その関さんの息子さんが役場に入られる!? それだけでわくわくしていました。応援しております。元気な方ですねー。町も元気になる気がします。お話がとても分かりやすく、エネルギーが。今後に期待しています。
8 70代以上	不登校は、子どもだけでなく、親も関係することが多い。子どもは、親のことをとても心配している。	つながりが大切。
11 40代	力強い発表で熱意を感じた。	取り組んだ一つ一つのイベントの様子を詳しく説明して下さり、どんなことをしているか分かりやすかった。
12 60代		<ul style="list-style-type: none"> ・行動力がある方がと感しました。 ・手探り状態ですが、がんばってほしい。

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。③・④

No	③誰かと繋がる楽しい居場所 ハナブサハウス松川 【発表者】NPO法人はなぶさ学園 ハナブサハウス松川 代表 下澤綾子 氏・福祉を考える会運営委員 蒲澄子 氏	④地域共生コーディネーターの取り組みと地域共生社会 【発表者】松川町役場 保健福祉課 地域共生コーディネーター 関秀之 氏
13 50代	分かりやすかった。	熱心に取り組まれている。
14 60代	色々な事、細かい事、よくわかり、よかったです。	色々やっている事が内容等でよくわかりました。よかったです。
16 40代	具体的な取り組みが聞けて勉強になりました。また伺ってみたいと思います。	
17 40代	孤食で自炊する気がおきない→ごく普通のこと… 気軽に立ち寄れるところから制度につながることは大切。 大きな看板があるといいと思う。	
18 60代	Hugとの違いがよく分からない。 それぞれの理念を持って誠実に取り組まれていることが分かりました。	役場と地域がつながる活動は難しい点多々あると思いますが、小さなことからでも良いので続けてくださることが大切だと思います。 役場を地域の方がより身近に感じられるようにしていくことが大切だと思います。
21 40代	ハナブサハウスさんへ、一度ミニミニたんぼのメンバーと見学へ行きたいと思いました。 居場所作り、がんばってほしいです。	
22 70代以上		楽しいから出会った仲間。
23 50代		どんなことが始まるのか…と思いながら応援していました。だんだん輪が広がっているのですね。できるところから参加していきたいと思いました。
24 60代		コーディネーターの関さんをもう少しいろんな場所に呼んで広げていければと思う。

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。③・④

No	③誰かと繋がる楽しい居場所 ハナブサハウス松川 【発表者】NPO法人はなぶさ学園 ハナブサハウス松川 代表 下澤綾子 氏・福祉を考える会運営委員 蒲澄子 氏	④地域共生コーディネーターの取り組みと地域共生社会 【発表者】松川町役場 保健福祉課 地域共生コーディネーター 関秀之 氏
25 20代	行ってみたいと思った。	松川高校では花植えでお世話になっている。
27 50代	すごく聞きやすく、わかりやすかったです。	とても気さくで人柄のわかるお話でした。
28 40代	民間の人とのつながりがたくさんあり、ステキだと思います。	
30 70代以上	このような施設があり、とても心強いです。	「役場」という組織の中だからこそ、この取り組みの大切さ、必要性を感じています。
32 30代	ハナブサハウスさんの経緯やきっかけ、町とのつながりや理念がよくわかった。蒲さんの感想も、客観的な意見がよかった。	多様な人がごちゃまぜに集まれる場の必要性を改めて感じ、それをコーディネートしてくれている人が町にいることに心強さを感じた。
34 60代	誰でも利用できる居場所を作っていただき、ありがとうございます。学校を卒業すると居場所がない状況もある。「ひとりひとりの命を救うもと」になると思い、ありがたいです！	松川町の他市町村に先駆けた取り組み、ありがたいです。
35 70代以上	開所してまだ日が浅いですが、私もまだお訪ねしたことがなくて、今回の報告をお聞きして、顔を出してみたいと思いました。	福祉の場での体験を活かして、町内の様々な福祉活動を行っている方をつなげての様々な取り組みが広がっていくといいですね。
36 70代以上	ハナブサハウスも説明を聞いてやっている事がわかりました。	いろいろと関わりを作ってくれる方だと思いました。
37 70代以上	活動の内容について少し理解できました。柔軟な対応が求められる活動だなと思いました。	理念を延々訴えるのではなく、一つ一つ実践していく事がいいな…と思います。楽しさがあることが大事ですね(希望:歌声喫茶)

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。③・④

No	③誰かと繋がる楽しい居場所 ハナブサハウス松川 【発表者】NPO法人はなぶさ学園 ハナブサハウス松川 代表 下澤綾子 氏・福祉を考える会運営委員 蒲澄子 氏	④地域共生コーディネーターの取り組みと地域共生社会 【発表者】松川町役場 保健福祉課 地域共生コーディネーター 関秀之 氏
38 60代	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を町内外にPRできると良いと思います。 ・多様な居場所が増えると良いと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施主体が増えるための取り組みも大切だと思います。 ・一年の具体的な実践は次につながる事業だと感じます。たくさんの事業でお疲れ様です！
39 30代	<ul style="list-style-type: none"> ・分断しない異世代交流の場→悩みがあってもなくても楽しめる場所 ・誰かと一緒にご飯を食べるおいしさ ・集まる場を求めている人がたくさんいる。何もなくても気軽に足を運べる場所が必要。 	<p>難しい話などなくても、ただ楽しいことだけをする場所作り。</p>
40 70代以上	<p>自分の言葉で伝えることは力がありますね。ますます楽しい居場所になると良いですね。具体的に関わる力はわかりませんが、笑い声が増えると良いです。</p>	<p>具体的な取り組み、楽しいこと、ワクワクな事をひとりひとりが実践できる場はとても良いですね。</p>
41 50代	<p>発表の内容も良かったですが、プレゼンのスキルも大変良かったです。</p>	<p>つながるきっかけづくりは、また教えていただきたいです。</p>
45 60代	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みを抱える前からつながる居場所。 ・行政や近隣市町村とつながっていることは良い。 ・支援が必要な方に支援を届けるアウトリーチが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人たちが役割や生きがいを共につくっていく社会、町になるようがんばっている。 ・役場が地域の人たちが集まる場になるように、というのは良い取り組み。
46 60代	<p>場所がわかりにくいし、まだまだ知らない人が多いと思う→残念 とにかく、誰でも気軽に寄れそうなところなので、みんなに知ってもらいたいと思う。</p>	<p>違う視点で「楽しい」から入って、人とつながっていけるようになればいいなあと思った。</p>
47 70代以上	<p>広域でつながって活動する新しい方向を考えている(ハナブサハウス)。 持ち寄りの食材で食事作りをする自由さがよい。 イベントでは必ずアンケートをとっている。その姿勢が嬉しい。 困り事や悩み事をいつも知ろうとする姿勢を感じる。 異年齢での交流がある。大勢の人が集まっているので、これからが楽しみだ。</p>	<p>今までつながらなかった人をつなげていく楽しさ。行政職として新たな位置づけの職員ができたことで誇らしく思う。新しい仕事なので町民も一緒に松川町のコーディネーターを作り上げていけたらすばらしい。</p>

問6 基調説明、事例発表の感想をお書きください。③・④

No	③誰かと繋がる楽しい居場所 ハナブサハウス松川 【発表者】NPO法人はなぶさ学園 ハナブサハウス松川 代表 下澤綾子 氏・福祉を考える会運営委員 蒲澄子 氏	④地域共生コーディネーターの取り組みと地域共生社会 【発表者】松川町役場 保健福祉課 地域共生コーディネーター 関秀之 氏
48 70代 以上	下澤さんがとても気さくな人柄で行きやすい。なんでもお話できそうです。	関さんの新しい共生、楽しんでつながる。共感できます。私たちの地域にもぜひ呼びたいです。
50 50代	見学してみたいです。	もっと詳しく活動内容を知りたいです。楽しそうですね。今後の活動に期待しています。
51 60代	素晴らしい活動。3/3餃子を作る会、すごい勢いで拡大化している。学校とのつながりが強化されている。 何している所？親子で利用。困っていることを抱えて話に行く所。不安を抱えている子どもがふらりと寄れる場所ができてありがたい。	近隣市町村にはない制度。 いったいどんな活動をしていて、どんな人？役場の職員にならなくていい(町長の声) 様々なイベントを開催。 福祉を押しつける訳ではない。自然に浸透していくもの。
52 60代	存在を初めて知りました。Hugと共に何らかの関わりができればいいなと思いました。 かなり利用者があるようなので、もっと多くの人々、町民、飯田下伊那の人たちに知ってもらえるといいと思います。	いろいろな活動をしていることを紹介していただいた。様々なつながりができそうで、これから更なる発展ができるといいと思います。
53 40代	活動の様子を初めて知る事ができました。2025年、支援活動がどの分野でも大きな問題となる。ますますつながるという事がさらに大切になってくる事を感じた。今日の福祉を考える集會もまた「つながる」機会の一つと改めて感じました。	一緒に楽しみを共有できる空間・時間が持てる事もつながりの中で大切と聞いて共感しました。

問7 ①現在抱えている困り事がありますか？または周りに困り事を抱えている方はいらっしゃいますか？

②こんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ

③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう

No	①現在抱えている困り事がありますか？または周りに困り事を抱えている方はいらっしゃいますか？	②こんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ	③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう
2 70代 以上	チョイソコは住民福祉ではないですか。車がない人がもう少し利用しやすいように、土日とかも利用できたり、停留所を多くしたりとか。		
3 60代	他地から嫁ぎ、転勤族でもあったため、同級生も親戚もいないこの地域で、年を重ねていつている今、どのような人との関わりをもっていけばいいのか…と考える事が多くなりました。		
4 60代	病気を患い、これからの生活が不安。		読み聞かせのボランティアに関わっていきたい。
5 50代	居場所(子ども、大人)皆が近くにあるといいなと思う。		
6 60代	買い物弱者。組合脱退者、未加入者の孤立。ひきこもり。不登校。24時間体制の連絡先。足が悪くなり、地域の清掃活動に参加できなくなってきた。		<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や学校の送り迎え ・お弁当や食材の配達 ・保護者会や学校行事などの時の子守りとか…？
12 60代		本来、自治会はご近所で支え合う、地域共生の基本的な単位であり、目的もそうだったと思う。今、未加入が風潮になっていると思う。 なぜ？入会金、事業、etc...	
13 50代		国、県の施策の隙間を埋めるような町村現場の施策を望む。	ボランティア
14 60代	一人暮らし。災害の時。選挙へ行きたいが行けない。		<ul style="list-style-type: none"> ・話し相手 ・子育て支援

問7 ①現在抱えている困り事がありますか？または周りに困り事を抱えている方はいらっしゃいますか？

②こんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ

③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう

No	①現在抱えている困り事がありますか？または周りに困り事を抱えている方はいらっしゃいますか？	②こんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ	③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう
18 60代		生きていく中で”こんな時にはここに相談する！”といった具体的な図式を町民に知らせてほしい。	
20 50代			空いた時間などを利用してボランティアなどできそう。
21 40代	20歳を超え、色々とできる事が多くなり、障害者年金の受給はない。でも収入はそんなはないというグレーゾーンの息子の将来が心配。		
27 50代	知っている方では特にいませんが、知らないところでたくさんいらっしゃると思います。	もっと柔軟な支援とつながるとよい。	子育て支援ならいくらでも。
28 40代			話を聞くことができる。その方の話を聞いて解決できないことを一緒に悩める。
31 40代	中3の子がいますが、進路を話せるところがほしい。	入学式や卒業式、参観日などに下の兄弟を無料で見てくれるところがほしい。	日赤奉仕団として何かお手伝いができるかなあと思いました。
32 30代	子育て、手一杯(特に病時)でとても悩む。周りにも子育てへの不安が多い。	リユース(子育て用品や生理用品など)の循環の場。気軽に集まり、対話ができる場。	いろいろな方と対話して、様々な価値観にふれたい。

問7 ①現在抱えている困り事がありますか？または周りに困り事を抱えている方はいらっしゃいますか？

②こんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ

③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう

No	①現在抱えている困り事がありますか？または周りに困り事を抱えている方はいらっしゃいますか？	②こんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ	③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう
34 60代	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢のご夫婦お二人ぐらしの近所の方が、「チョイソコ」「タクシー」など、何をどう使っているかわからない、とのこと。施設に出られない人たちにもわかりやすい説明があるといい。 ・自分自身も今後、免許を返した時の足が心配！限られた年金でもっと安く使えるようになるとありがたい。 		
35 70代以上	<p>私の大鹿村出の障がいを持ついとこ2人が上伊那と下伊那に別々のグループホームに住んでいる。60代後半となって、働くことはリタイアして、何とか一緒にグループホームに住めないかと苦慮している。</p>	<p>4グループの中で町外の療養機関への簡易な交通手段がほしいという願いを聞いた。</p>	<p>資料集に収められた集会の経過は本当に厚いものを感じる。介護制度ができる前か、社協を育て、取り組んでそのことを集会で全体のものとして町内に発信してきた積み上げは本当に大切であると感じました。</p>
37 70代以上	<p>介護者の立場になり、心の持ち方(穏やかに暮らす、ストレス解消法)。</p>		
39 30代	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく生活したいのにできない人がいる(認知症などで)。 ・人と関わりたくない人、1人がいい人との関わり方が難しい(介護の面で)。 		
40 70代以上	<p>差し迫ってはいませんが、山の上の一軒家なので道路の凍結、崩れが今後気になります。</p>	<p>日中、顔を合わせて(リズム)ダンス等、身体を動かしたい。</p>	<p>朗読、整体、環境整備、食事作りなど</p>
41 50代		<p>高校生が地域のみなさんとつながるための仕組みをつくれると良い。</p>	
46 60代	<p>特にない。 今は周りには特にいないと思う。</p>		

問7 ①現在抱えている困り事がありますか？または周りに困り事を抱えている方はいらっしゃいますか？

②こんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ

③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう

No	①現在抱えている困り事がありますか？または周りに困り事を抱えている方はいらっしゃいますか？	②こんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ	③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう
47 70代 以上	なかなか分かりにくい現実があるが、今日の集会でインフルエンザで寝込んでいたら、おかずを届けてくれたという話があつて、まだまだ助け合いの事実はいっぱいあると思えた。		
51 60代	困り事は人それぞれ。声かけはとても難しい。		食材の持ち込み。いずれはHugさんの調理をお手伝いしてみたいが…
53 40代	孤立しやすい世の中になっているのかなと感じた。何のきっかけで起こりうるか予測ができない。だからこそ、困った事が特にないと思える日常の時こそ、「つながる」という事も意識していく良い機会なのかなと思いました。		自分自身や自分に近い存在の人、今はそうでなくても皆孤立の可能性もあるのかもしれないと思った。自分事として、考えていかれたらと思います。

●その他

No	その他
4 60代	とても勉強になりました。
5 50代	社協、町、ボランティアの皆さんの力で素晴らしい会でした。 参加者が若い方が多くてうらやましく感じました。皆さん、お疲れ様でした。
6 60代	今日はよいお話が聞けて、本当によかったです。
8 70代以上	いろいろな事例があり、参考になりました。
11 40代	松川町の福祉に対する意識が根付いていると感じました。 42回続いている歴史が物語っている。
15 60代	初めてこういう会合に出席して、松川町もたいしたもんだと思った。
17 40代	手話通訳さんがいらっしゃるのがとてもいいなと思いました！
18 60代	悩み事を具体的に示したつながりの図を作成して、気軽に相談して参加できる場につなげてもらえるようにしたら良いと思います。
19 70代以上	松川町に住みながら、初めてHugの活動を知った。すごいなあ。 ハナブサハウス松川、どこかで聞いた。何している所か、今後かかわれるのか知りたくなった。
24 60代	とても勉強になり、人とのつながりの大切さを改めて感じ、自分もつながりを深めたいと思う。

●その他

No	その他
27 50代	子育てに対する話がほしいと思いました。
31 40代	初めて参加した集会でした。 この会は知ってもらふ、知るという機会という意味では必要なんだと思う。出た意見をしっかり形にして実現してほしい。
32 30代	話し合いのグループ、10人程いて、少し多いかな？と感じます(自己紹介で15分程かかってしまう)。5~6人だとじっくり話せるかな？運営委員でもファシリテーター手伝えたらどうか。
35 70代以上	いただいた資料集、乱ページでした。私だけでしたようで正しいのに変えていただけました。
36 70代以上	大変良かったです。
38 60代	喬木村(?)では、下校時に村民に向けて見守りのアナウンスが流れるようです。流す言葉や方法は検討ありますが、松川町でも…と思います。
46 60代	せっかくの良い活動も、もっと皆に知ってもらいたいし、知ってもらふ方法を考える。若い人はSNSとか使えるが、おばちゃんやお年寄り…。知ってもらふ事は大事。人とのつながり、ネットワークは大事。
47 70代以上	集会の組み立て、設営、進行、良かったです。 これでHugとハナブサハウスの役割が参加者の皆さんにイメージできたと思います。 活動の対象はHugは主に子ども、ハナブサハウスは子どもから年寄りまでと特徴がある。ここに活動をつなぐ、関コーディネーターが位置についたこと、さらに我町の誇りである社協が揃った。他にもボランティアグループが揃っている。松川ならではのコーディネーターの役割を創り、広げつつ、独自のネットワークを構築することはできないか。
53 40代	受付1階、販売2階→昨年より動線がスムーズで良かったと思います。

小グループごとの 話し合いの記録

* 集会当日、8つの小グループに分かれて
話し合っていたいた際の記録です。

第42回 福祉を考える集会 記録用紙【1グループ】

司会者：北原紀子さん 記録者：田中しのぶ

●参加者

(民生委員1名／一般2名／社協関係2名／ボランティア関係3名／その他2名) 計10名

●意見、感想内容

・地域共生コーディネーターさんとケアマネさんにお世話になったことがある。とてもフレンドリーで、話しやすかった。親身になって協力してくれたおかげで、生活にハリが出来て、元気が出た。

・役員になったおかげで、色々な集会に参加するようになった。色々な人と出会えた。

・ハナブサハウスさんの存在を知らなかったから、話が聞けて良かった。日赤病院と連携が取れたらいいと思う。

・Hugさんやハナブサハウスさんが何をしているところなのかわからなかったから、今日話が聞けて良かった。外に出れるきっかけになるといい。

・中々発信が出来なくて、知らない人が多い。うまく発信していけたら、近所の交流にも繋がると思う。

・SNSだけじゃなく、チラシを配布したりして、身近に目に入るようにすると思う。

・多世代間を巻き込んでくれるので、幅広い交流が出来る。

・コーディネーターさんともっと連携していけるといいと思う（サロンに呼ぶなど）。希望が見えてくる。

・具合が悪い時に、心配してくれる人がいる幸せを感じた。気にかけてくれる友達がいてありがたい。

・NPOはとてもすごいと思う。

・ハナブサハウスさんの場所がわかりづらいので、看板があると思う。

・駐車場から距離があったり、段差があったりすると高齢者は大変。そういうのがなくなるといいと思う。

・自分の困ったことなどを持っていける場所がないと、人は孤立してしまう。地域に声を出せる場所が出来たことが素晴らしい。気軽に発信して欲しい。

・喋れない方、行けない方もいる。そういう方の声をどう聞けばいいかが難しい。ハナブサハウスさんなどの存在が転機になるといいと思う。

・ご近所さんでもわからないことが多い。プライバシーの問題もあり、中々聞けない。隠してしまう人もいる。信頼関係を築くまでが大変。

・共働きや片親の場合、働いている時に子供と話をしてくれる人がほしい（子供に淋しい思いをさせたくない）。でも子供と距離を縮めるのは大変だから難しい。

記録：何原弓絃

日赤奉仕団から2人参加された。その方から、

- ・奉仕団でハナブサハウスの見学に行った。奉仕団として何かできることはないか考えたい。
- ・基本的には役員にはなりたくないが、こうして出てくる機会があるといろいろな方に会えて勉強になる。

ハナブサハウス：場所が狭い、分かりにくい、使いにくい、という意見があった。

みんなでどんどん使って、どうしたら良いかを使いながら考えて声にしていくことが大事だと思う。

できるだけみんなで使いながら考えていったらどうだろう。

アンケートのお礼の品を皆さんに配っている意味が分かった。品物を「いらない」と言ったら、「近所や知り合いに配って」と言われた。トイレットペーパーにQRコードが付いているのははなぶさ学園の活動を広めたいということだ。

地域共生コーディネーター：気さくな人で嬉しい。相談しやすい。

他の町にはないとのことなので、私たち住民が関さんと一緒にその役割を創っていけるといいな。

宮沢さんの写真をこの場に出してくださったことがとても嬉しかったと奥様が話して下さって、グループの皆、この場でお話して下さったことも含めて感激して聞きました。具体的な話を聞けることはとても嬉しい。

第42回 福祉を考える集会 記録用紙

グループ	2	司会者	矢沢亜弓	記録者	加藤悦子
参加者構成					
町議会関係	1名	役場関係	3名	福祉事業所関係	1名
一般	4名	社協関係	1名	計	10名
問6について					
<ul style="list-style-type: none"> ・ どういうところか知らなかった、今日初めて活動の様子を知ることができて良かった。 ・ 今日の発表を聞きたくて初めて参加させていただきました。 ・ 料理に手をかけていて美味しい、年齢に合わせて味付けをしてくれる驚きました。 ・ 毎年農家さんより苗を安くいただき、畑にサツマイモを植えて子どもたちに自由に採ってもらうなどこれまでも関わりがありました、子どもたちの嬉しそうな表情はいいですね。 ・ 食が満たされる、体にいいということは喜びにつながる大切なことだと思う。 ・ 孫がhugに行ってます、迎えに行ったことはあるが中に入ったことはなかった、孫の様子から居心地がいいのかなと思ってはいた。みんなの協力や助け合いがあってありがたい。 ・ Hugの食事を食べた人から野菜中心で栄養バランスも良く味もいいよと話を聞いていた、今度予約したので楽しみです。 ・ 機会があれば寄って食事、お弁当など食べてみたい。 ・ 関りはなかった、NPOでやっているのでも熱意ある人がしているんだろうと思う、楽しく一人一人が輝いているのがいい。ただ一般の人がそこに入っていくのは躊躇してしまう感じがあります。 					
問7-①について					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在一人暮らしとほぼ同じ状況です、これからの生活どうしたらいいのかなと考えてしまう、家に帰ると食事も一人だけ、一人って張り合いがないと感じます。 ・ 地域のつながりに一歩踏み出すのはとても勇気がいります、第三の居場所を見つけるいいとわかるがどう作るのかわからない。 ・ 一人暮らしなので認知症のことは心配です、移住してきたばかりでまだよくわからないので今日ここに来れたことが嬉しかった。 ・ 暮らしの相談に行ったことがあるが、話して終わる解決にならないと感じた。この相談はどこに行けば解決できるのか、もしかしたら愚痴だったのかなとわからず悩んでしまった。 ・ 家庭のことで悩んだ時、愚痴になってしまうのでは、こんなことを言うてはいけないのかなと感じてしまう。 ・ 仕事と家を行き来のみ、趣味とかそういった居場所というのはなかなかない。 					
問7-②について					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 来れば何とかかなと思えたり、愚痴が言える場所というのは大切だと思う。 ・ 皆で支えあっている中で悩みが自然と出ることが大切、その中で専門機関へ繋げていけるといいと思う。 ・ 愚痴が言える場所というのは大切だと思う、来れば何とかかなと思えたり、話すだけでも良い悩んでいるのは私だけではない皆同じなんだと思えるのがいい。 ・ その悩み事により異なっては来るが、法的なもの、専門へつなぐ必要があるもの、家庭不和 					

によるものなどそれぞれで相談先は違うと思う、ただ一人で悩まず話していただくことが大切、役場や社協に窓口があるのでまずは相談していただけたらと思います。

その他

- ・サツマイモやニンジンなど自然の中でできたものはとても美味しい、場所によってはサルなど鳥獣害や砂地など地盤が心配になる場所など難しいところがありますが、移住してきた私にとって松川町は自然豊かで本当に素晴らしいと思う。長年暮らしているから気が付かないかもしれませんが、一歩外へ出てみると生まれた郷土の良さや温かさをきっと皆さんも感じるはずです。

第42回 福祉を考える集会 記録用紙

グループ； 3 司会者；島崎智美 記録者；下平富二子

参加者構成	■民生児童委員	1名	■役場関係	1名	■福祉事業所関係	1名
	■福祉推進委員	1名	■学校関係	1名	■社協関係	4名
					計	9名

▼自己紹介を兼ねて

- ・小、中、高の3人の子供にとにかくお金がかかる
- ・遠方での一人暮らしの親が心配（会話が減って言葉が出てこなくなった）
- ・保育園、学校での子供たちのつながりから親同士のつながりへ広まった
- ・一人暮らしの方を外の施設や事業所に繋げることができた
- ・社会へ出られない家庭があることを理解する（SOSを発信できない）

▼Hug・ハナブサハウス松川の活動について

- ・寛容さ、柔軟さがある、法的な部分以外のつながりがある
- ・福祉事業所は国や県の制度に縛られて、その中でしか動けない
- ・NPO法人の手法を真似したいくらいだ（他町村社協の方）
- ・ひとりひとりに寄り添った活動
- ・学校以外の学習の場があることは大変有難い
- ・出席日数にカウントされるということはハグさんの活動の重要性を教育委員会も認めたと
いうこと
- ・松川町だから、周りの支援が多大だからこのふたつのNPOが活動できるのであろう
- ・当町だけでなく、飯田下伊那範囲でNPO法人の在り方を考える

▼その他の意見

- ・心配事があっても近所には知られたくない為、近くの機関には相談できない
- ・同僚に相談して先輩の一言で救われたことがある
- ・困りごとは最後は自分で解決するしかないが、どん底まで落ちる前に安心して相談できる
場所、環境を整えることが大事だ

第42回 福祉を考える集会 記録用紙

4 グループ [司会者] 橋本 [記録者] 杉山さおり

[参加者] ■町議会関係 1名 ■役場関係 2名 ■福祉事業所関係 2名

■ボランティア関係 1名

・80歳を超えて、目が悪くなり足も弱くなった。運転は控えている。出かけるときは、夫に送り迎えをしてもらっている。

・社協を退職し、福祉を考える集会も10年ぶりくらいに参加した。

・オレンジカフェへ週2～3回、勤めに行っている。福祉の事に興味があり参加した。

● 基調説明・事例発表の感想

・町内での色々な問題を抱えたケースを聞いて勉強になった。

・近所で中学生くらいの子供が11時ころ登校している姿がある。どうしてなのかなあと思うが、声をかけづらい。知らない人から声をかけられて不審者に思われても悲しい。何か理由があった登校時間が違うのかもしれない。色んな価値観がある世の中なので、不登校が悪いと決めつけてはいけないと思うが、昔とは大きく変わってきたと感じる。

・挨拶をするにも知らない人から声をかけられたと怪しまれ、教育現場も変わってきていると感じる。

・少子高齢化を感じる。子供の育つ過程が自分たちの頃とは違う。自治会の行事でも、子供が中心になっておこなうほんやりも少なくなったと感じる。

・核家族が多く、家庭内での問題が多くなっているのではと感じる。

・声を出して相談できるケースは良いが、表に出てこないケースはもっと多くあると思う。どんな形であれ、相談できる場所や人とつながれることは大事なことだと思った。

・ハグのフリースクールでゲームや勉強をしている姿を見たときは、どうしてフリースクールを利用するのかと思ったが、それぞれの子供さんを見てみると良い子たちだと感じた。学校の勉強や受験が全てではなく、価値の多様性を受け止めることが大事だと思った。

● 抱えている困りごと

・28歳の子供に障害があり、飯田の障害の施設へ通っている。送迎サービスがあったが、人員不足で、施設送迎ができなくなった。家族の送迎や介護タクシーを利用している。人見知りがあり、施設を変えることは子供にとっては精神的負担が大きい。送迎スタッフとの関係を築くにも時間がかかるが、施設送迎が再開できるとありがたい。

・チョイソコを利用している。町外への外出は、タクシーだとお金がかかるので良い移送サービスがあると良いと思う。

・働く人の高齢化で車での送迎や移動方法も困難さが出てくると考えられる。安心して外出できるような仕組みがあると良いと思う。

第 42 回 福祉を考える集会 記録

グループ 5 司会者 蒲澄子さん 記録者 小池有里子

参加者 福祉推進委員 2名 ボランティア関係 3名

学校関係 1名 福祉事業所関係 1名

役場関係 1名 一般 2名

- ・事例発表時間が短いので、なんとなく内容がわかっている方はわかってもそうでない方は分からないと思うので、もっとじっくり話を聞きたかった。活動内容よかったのもったいない。
- ・団体をしぼってもっとじっくり聞きたかった。
- ・手話の方も盛りだくさんで大変そうだった。
- ・頼りにしていく所大事。
- ・パワーポイント、網掛けは目の悪い人は見にくい。Hugさんのように大きい字だと見やすい。目から入ってくる情報は大事。見づらいと理解しにくい。
- ・福祉制度もれてしまっている人がいる。
- ・行政最終的に来られる所。役場に困ったから行くが、その前段階でのアプローチがあれば。アプローチ役場で初めているがまあ多い。基本申請が多いが、本人は困っていない事が多い。誰かしらがかかわっている。資産があるからダメとかで制度が受けられない方もいる。
- ・福祉推進委員さんの活動。自治会などの集まりが少なくなり伝えられない事がある。
- ・コロナで地域の集まりも少なくなった。もっと集まりあればと思うが負担に感じている方もいる。
- ・ハグさんもハナブサさんも連携とって動いて下さっている。
- ・コミカフェ、健康マージャン、ハグさん、ハナブサさんの活動こういう会に出てわかったし繋がった。もっとみなさんに知ってもらえる機会があればと思う。
- ・他の町村へ参加してみて、松川町は恵まれているんだなぁと感じた。支援松川町は進ん

でいる。

・子育ても皆で支援していこうと出産したばかりのお母さんに対しての支援しているが、制約、約束があり、私たちではたうちができない。知ってもらいたくて資料に載せた。

コロナ過だけど家に帰って1人になった時、地域で話が出来ると安心できると思う。

いい活動なのに制度、制約がいろいろあって支援してもらえない。助産師と2人で活動している。(子育て応援ばんだっこ)

・昔は集まって話をする場があったが、今はなかなか集まる事がなくなり寂しい。(飯島さん)

ハナブサさんに行ってみたり、家族会を松川町で立ち上げているので困っている事は皆ちがうけど相談してみるのもいいかも。

・心わずらっている人、事が多くなっている。

・町でかかわれてない方がまだまだいる。

・必死に耐えている人には目が向かない。大きな声をあげる人には目が向くけど。

・制度が使えるか使えないのかわからず自分で調べた。

・役場の受付に案内役の方がいるけど、制度も教えてくれる方がいればいいと思う。

・話し合える場。こういう機会は大切。

福祉を考える会集会 記録 6 グループ

司会 竹内恵美子さん 記録者 米山佳織

民生委員 2名 役場関係 1名 福祉事業所関係 1名 一般 3名

役場の方の説明について、いつに無く制度が明確でコンパクトだった。下沢さんの力のこもった伝え方に感銘を受けた。

重曹支援一言葉が難しい、具体的な話が欲しい、自治会に戻っても説明出来ない。

包括、社協そのものも分からない人がある。いっそのこと社協一本にして欲しいという地域の意見もある。これから新しい言葉が色々な面で出てくるので、つかみ取っていかなければ。頭のいい人が考える言葉は難しい。

重曹支援、地域共生、私たちの身近な言葉になれば良い。整理して図にしてあるので、分かりやすかった。事例は大変な所にかかわっているんだなと思った。

図の意味が分からない所があった、A26、27の資料のつながりが分からない、図の意味が分からない。同じページにした方が良い。

目指すイメージ、統合的なアプローチがもっと分かりやすくしてほしい。

人権問題等の検証も必要ではないか、今までも福祉の事はやってきているが、分かりやすい構造になってきている。

地域共生コーディネーター 初めての取り組み、公民館とのつながりをどうして行くか。

役場とのつながりは出来てきている。子供を巻きこんだ地域の方とのつながり。

お金がかかる物はすぐには出来ない、地域間とのつながりが先で、そちらからもって行く。手を携えていきたい。深めていってもらいたい。

町内にちょいソコバスがあるが、利用者が使いづらいという意見がある。

松川町は色んな団体がある

はなぶさハウスー見させてもらいたい、こういう活動があってよかった。

ライフステージにおいて、どんな団体があるか、利用出来るか分かりやすく、図面にしたい。こんな時には、ここという一目で分かる図式にしたい。

例えばハザードマップの様な、困っても相談する所が分からない。

近所の 50 代の方が、救急車で運ばれた、50 代の一人暮らしでも心配な事はある、民生委委員も入らない。

若年性のアルツハイマーの方増えてきている。近所にも一人暮らしの方が居て、家の周りが草だらけ、何もしない火事にでもなったらどうしようか心配だ。

地域の組織、地域の基本の自治会に未加入の人が増えてきている。

自治会解散したところもある。

地域社会の在り方の変革期に来ている。

組織が無くても葬式は出来るし、自治会を必要としない人が増えてきている。

何をどうやってつないでいけばいいか。

お隣さんを大切にできるか。

今日の福祉を考える集会は大変勉強になったと、何か地域の役に立ちたいと思って

民生委員をしていると。

7グループ 司会：原 節子 記録：林 和子

町職員、議会関係者 1名、福祉推進員 1名、ボランティア団体関係者 2名
NPO 法人・社会福祉法人職員 2名、人権擁護委員 1名、一般 1名

- 町内で沢山のボランティア活動を、積極的に行っている。そのために、毎日出かけているが、その中で沢山の人達と関わりを持つことで、元気で居られる。いとし児会では若い方が少ないので、若い方達にも、できる時にできる形で、託児のボランティアに参加してもらいたい。無理すると続かないので、コロナ禍の際には、清流苑の周りの草取りを行った。一緒に話をできることが嬉しかった。
- 福祉とは、身体障がい者に対応するものという考えが頭にあったが、今日の話聞いて、いろいろな悩みを持った人の対応をするものという認識が変わった。
- 松川中学校で、不登校支援を3年間行った。その際にいろいろと勉強させてもらった。松川町では、ハグさんやハナブサハウスさんが、積極的に活動していたり、保健福祉課でも、先進的な活動をしており、そのような話を聞くことができ、嬉しかった。実践の積み重ねで苦勞もあると思うが、このような土壌がある松川町は色々な可能性をもっていて、すごいと思う。
- 身内に発達障害や聴覚障害をもつ者がいる。仕事もそのために、丸1日勤務は難しい。これだけボランティア活動が盛んな松川町はすごいと思う。
- ハグさんやハナブサハウスさんの話を聞いて、つながることが大切だと感じた。
- 学校、家庭だけでなく、第三の居場所があるといいと思う。学校に行きたいけれど、行けない、学校に行かないという決断をする子供が増えている。以前よりも低年齢化しており、小学校低学年から不登校になる児童も多くなった。勉強をしなくても、一緒にお茶を飲んで、興味関心のある話をするだけでいい。不登校の子供がいると、いつなら起きられるか、いつなら出かけられるか、不安定なため、一人の親はつきっきりになり、働けない。そのため、安定した収入が得られない。民間のフリースクールは費用面で大きな負担になる。親が送迎しなくても、地区ごとに歩いて通える居場所が近くにあるといい。そこに高齢者も歩いて通えて、一緒に大人

も子供も集える場所がほしい。そのような温かい活気のある町をつくりたい。

- 第三の居場所は、親にとっても子供にとっても助かる。
- こども食堂が町内に複数あればいいのか。核家族化が進み、親子関係がぎくしゃくしがちなのでは…。そうした時に、祖父・祖母の存在があれば和むのではないか。思春期には、子供との関わりで、ちゃんと向き合ってくれる親でない大人の存在が大切ではないか。
- 不登校の子供に話しかけると、子供も安心する。子供のことを理解して、一緒に動ける場所があるといい。子供の行きたい場所を沢山つくってあげることが大切では…。
- 親だからできること、親だからできないことがあり、おじいちゃん、おばあちゃん、他者の力を借りて、つながることが大切だと思う。

福祉を考える集会

記録

第8グループ

司会 佐々木 孝子氏

記録 宮下 理佳

メンバー 民生児童委員 2名 福祉推進委員 2名
一般 2名(内 町外 1名)
ボランティア関係 3名 社協関係 1名
計 10名

【感想】

- ・子ども食堂があるということを初めて知った。(福祉推進委員)
- ・Hug を見学に行ったり、友人が学習支援に携わったりしている。
ハナブサハウス 一度行ってみたいなあ。看板があるのは大賛成！
一人で行くのはちょっと、敷居が高いなあ…。(福祉推進委員)
↳でも、静かに行きたいとか“そっと”って思っている人にはどうなのか？
- ・関さんのお話し 内容が分かった。
大人のラジオ体操 小学校でやったという話、上片桐地区の人には参加しづらいなあ。(福祉推進委員)
Hug ハナブサハウス 知らなかった。
子ども食堂に興味を持っている。退職したら、何らかの形で協力出来たらなあと思う。
まだまだ知らない人はいっぱいいると思う。(福祉推進委員)
- ・孫が中学時代不登校になった。今は成人して働きに行けているがそのころにこう
いった場所があったらよかったのにと思っ話聞いた。(一般)
- ・Hug ハナブサハウス 子供の不登校の関係で係わりがあったので知っていた。
今日は地域共生が気になって参加した。下条村だが、一時期子ども食堂もあ

ったけれど今はなく、村が沈んでしまうと感じている。(一般)

- ・Hug 活動の広がりを感じられた。一人一人の子供に対してあきらめないで接してくれている。

今は野菜を提供したり、お弁当を頼んだりすることで協力しているくらい。

赤十字奉仕団も昔は炊き出しをするのが仕事みたいなところがあったが、来年度からは地域におりて活動するようというように変わってきている。

地域共生のコーディネーターは関さんでよかったと思っている。(奉仕団)

- ・Hug 毎週(水)に子どもカフェに行っている。他の活動については知らなかったなので話が聞けて良かった。

ハナブサハウス、中3の息子が学校帰りによっている。ちょうどいい距離感でいてくれて、居心地がいいのだと思う。そのままを受け入れてもらえている。家族でない大人と接することが出来ありがたい。

奉仕団で係わりが出来たらと思っている。(奉仕団)

【問7について】

- ・必要としていても言えない人がいると思う。困っているのではないかと思っても個人情報のももありあまり突っ込んで聞けない。一緒になって引きこもっている保護者もいる。

- ・Hug のフリースクールに通うと出席日数にカウントしてもらえる。前の教育長さんがそのように取り付けてくれたことはよかった。

- ・民生委員で一人暮らし高齢者の所へ行っている。困っているんじゃないかな？と思っても「困ってない」と言われるとどうしようもない。

独居の方には行政の手も入りやすいが同居家族がいると家族が大事にしたいため難しいこともある。

- ・小さいうちから地域の人たちと顔見知りになっているといいが…。下手に声をかけると知らない人に声をかけられたと言われてしまう。

- ・SNS での発信 若い人にはいいが高齢になつてくるとなかなか…。

こういう手伝いが欲しいと発信してもらえるといい。

・認知症の母の介護をしてきて大変な頃家に帰りたくない時があった。友人が家で休んで行けと場所を提供してくれて休ませてくれた。それがあって今がある。そういう場所があるといい。

・核家族だと、上の子の行事の時に下の子を安価で気軽に、預けられるところが欲しい。直近では中学の卒業式。連れていくしかないのかな？と思っている。

○ボランティアしたいと思っている。

今日のような場があるといろいろな世代でいろいろな話ができる。ボランティアしたいと思ってもその時にできることが違うし、みんなで話すことが出来ていい時間だった。